

5. 理想の生き方

(1) 自分が理想とするライフコース

問 4 6 あなたご自身が理想とする人生は、どのようなタイプですか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 5-1-1

								(%)
		を結婚 せず、 仕事	継続は結婚 するが 仕事ど	継続を結婚 つして、 子ども	持育出 つて産 後に退 職し を子	たの出 な後産 いは後 仕退 事職 を持そ	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=7,593)	3.7	2.6	51.5	30.4	7.7	1.5	2.5
男	性 (n=2,996)	5.3	2.9	77.2	7.3	2.4	1.6	3.3
女	性 (n=4,519)	2.7	2.5	35.2	45.1	11.3	1.4	1.9

回答者自身が理想とする、結婚・子育て・仕事の視点からのライフコースを聞いたところ(図表 5-1-1)、「結婚して子どもを持つが、仕事も続ける(育児休業制度の利用を含む)」(以下、「就労継続型」という者が 51.5%で最も多く、次いで「結婚して子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」(以下、「中断再就職型」)が 30.4%となっている。

男女別にみると(図表 5-1-1)、男性では「就労継続型」(77.2%)を理想とする者が 8 割近くを占めている。これに対して、女性では「中断再就職型」が 45.1%で最も多く、次いで「就労継続型」(35.2%)となっており、男女差がみられる。

〈参考：全国調査〉

全国調査でも、約半数は「就労継続型」(50.7%)を希望している。

男女別にみると、女性で「就労継続型」(28.4%)を希望する者は 3 割弱で、府民調査の女性よりも「中断再就職型」(49.7%)を希望する者がやや多くなっている。

参考 5-1 自分が理想とするライフコース

								(%)
		を結婚 せず、 仕事	継続は結婚 するが 仕事ど	継続を結婚 つして、 子ども	持育出 つて産 後に退 職し を子	たの出 な後産 いは後 仕退 事職 を持そ	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=1,226)	4.6	3.2	50.7	30.9	9.0	0.8	0.7
男	性 (n=558)	5.6	3.9	77.4	8.4	2.2	1.3	1.3
女	性 (n=668)	3.9	2.5	28.4	49.7	14.7	0.4	0.3

性・年代別にみると（図表 5-1-2）、「就労継続型」を理想とする者は、男女とも若い年代に多くなっており、特に男性の 20～24 歳では 82.8%と、同年代の女性（40.3%）を 2 倍以上上回っている。

「中断再就職型」を理想とする者は、女性で年代が高いほど、やや多くなっている。

「結婚して子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない」生き方（「結婚・出産退職型」）を理想とする者は、女性のすべての年代を通して 1 割前後となっている。

図表 5-1-2 自分が理想とするライフコース（性・年代別）

(%)

			を結 続婚 けせ ず、 仕 事	継も結 続は婚 持す たる が仕 子事 ど	継を結 続持婚 つし がて 、子 仕ど 事も	持育出 つて産 後後 に退 職し を子	たの出 な後産 いは後 仕退 事職 をし 持そ	そ の 他	無 回 答
	全 体	(n=7,593)	3.7	2.6	51.5	30.4	7.7	1.5	2.5
男 性	20 ～ 24 歳	(n=392)	6.9	0.6	82.8	4.3	0.1	1.5	3.8
	25 ～ 29 歳	(n=402)	6.6	2.1	78.1	4.6	2.5	3.1	3.0
	30 ～ 34 歳	(n=583)	4.8	2.2	79.0	5.8	2.4	2.7	3.1
	35 ～ 39 歳	(n=720)	4.2	2.5	77.6	8.7	2.6	0.3	4.1
	40 ～ 44 歳	(n=886)	5.0	5.1	72.5	10.1	3.1	1.4	2.7
女 性	20 ～ 24 歳	(n=505)	3.0	1.0	40.3	42.9	8.3	1.9	2.6
	25 ～ 29 歳	(n=689)	2.3	2.0	37.1	45.1	10.0	1.7	1.8
	30 ～ 34 歳	(n=871)	2.7	2.0	37.9	47.2	7.7	0.6	2.0
	35 ～ 39 歳	(n=1,147)	2.4	2.7	36.0	42.3	13.4	1.5	1.7
	40 ～ 44 歳	(n=1,292)	3.1	3.5	29.3	47.3	13.7	1.6	1.5

性・地域別にみると（図表 5-1-3）、大きな差はみられないが（図表 5-1-3）、「就労継続型」は丹後地域の女性で 41.1%と、「中断再就職型」（41.9%）という者とほぼ同率である。

図表 5-1-3 自分が理想とするライフコース（性・地域別）

			(%)							
			を結 婚 け ず、 仕 事	継も結 続は婚 持す たが 仕事	継を結 続持婚 つし が、 子 事	持育出 つて産 後後 に退 職し を子	たの出 な後産 いは後 仕退 事職 を持 そ	そ の 他	無 回 答	
全 体 (n=7,593)			3.7	2.6	51.5	30.4	7.7	1.5	2.5	
男 性	京 都 市 (n=905)	4.7	2.8	78.9	7.4	1.5	1.6	3.1		
	丹 後 (n=368)	4.5	1.8	80.7	6.6	1.8	1.4	3.2		
	中 丹 (n=266)	7.8	2.8	75.4	6.9	2.6	1.3	3.3		
	南 丹 (n=252)	8.4	3.8	70.6	9.2	1.6	1.1	5.3		
	乙 訓 (n=259)	4.0	2.9	80.2	6.3	2.6	2.3	1.7		
	学 研 都 市 (n=278)	4.8	2.6	80.1	5.8	1.7	1.7	3.3		
	相 楽 東 部 (n=156)	5.1	4.7	77.6	5.7	2.7	0.5	3.7		
	山 城 北 (n=477)	5.9	3.0	70.9	8.3	6.1	2.0	3.8		
女 性	京 都 市 (n=1,478)	2.9	2.6	36.2	43.5	11.8	1.2	2.0		
	丹 後 (n=458)	3.0	1.7	41.1	41.9	9.2	1.1	2.0		
	中 丹 (n=374)	1.9	2.2	37.6	43.1	10.4	1.6	3.2		
	南 丹 (n=374)	2.9	1.9	31.4	50.3	9.2	1.3	3.1		
	乙 訓 (n=429)	1.7	2.4	34.2	45.2	12.4	1.5	2.6		
	学 研 都 市 (n=447)	0.9	2.7	33.1	48.1	12.9	1.3	0.8		
	相 楽 東 部 (n=230)	3.2	1.5	33.7	45.5	13.4	0.5	2.2		
	山 城 北 (n=689)	3.6	2.2	31.4	50.5	9.4	2.3	0.6		

性・就労状況別にみると（図表 5-1-4）、男性ではいずれの就労状況でも「就労継続型」の者が最も多いが、学生以外のその他無職と非正規雇用者で「結婚せず、仕事を続ける」（以下、「非婚就労型」）（その他無職 16.4%、非正規 10.3%）という者が、他の就労状況より多くなっている。

一方、女性では、正規雇用者と学生は「就労継続型」（正規 52.6%、学生 51.6%）の者が過半数で、「中断再就職型」（同 33.4%、31.5%）の者は 3 割台である。一方、学生以外のその他無職と非正規雇用者では、半数以上が「中断再就職型」（無職 57.6%、非正規 50.6%）と回答している。

図表 5-1-4 自分が理想とするライフコース（性・就労状況別）

(%)

		を結 婚 し ず 、 仕 事	継 続 し て 仕 事 を し る	継 続 し て 仕 事 を し る	持 育 出 産 後 に 退 職 し る	た の 出 産 後 は 仕 事 を し る	そ の 他	無 回 答
	全 体 (n=7,593)	3.7	2.6	51.5	30.4	7.7	1.5	2.5
男 性	正 規 雇 用 (n=1,875)	3.7	2.8	79.2	8.4	2.5	0.8	2.6
	非 正 規 雇 用 (n=379)	10.3	4.5	71.5	4.6	2.6	2.0	4.4
	そ の 他 有 職 (n=332)	2.3	2.7	78.3	7.5	2.8	2.7	3.8
	学 生 (n=213)	5.2	1.1	88.9	1.5	—	0.9	2.5
	そ の 他 無 職 (n=164)	16.4	4.0	51.2	8.8	3.3	9.0	7.2
女 性	正 規 雇 用 (n=1,421)	2.3	2.8	52.6	33.4	6.2	0.9	1.8
	非 正 規 雇 用 (n=1,598)	2.9	2.9	29.5	50.6	10.2	1.7	2.1
	そ の 他 有 職 (n=317)	1.9	1.8	37.7	41.2	14.1	0.7	2.5
	学 生 (n=205)	3.1	2.6	51.6	31.5	6.9	2.5	1.7
	そ の 他 無 職 (n=945)	3.1	1.4	15.1	57.6	19.7	1.8	1.3

性・子どもの有無別にみると（図表 5-1-5）、男性は子どもの有無にかかわらず、「就労継続型」の生き方を理想とする者が多数を占めているが、未婚者で「非婚就労型」（11.5％）が、子どものいない既婚者で「結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける」（「DINKS 型」）（11.3％）がそれぞれ 1 割程度である。

一方、女性で子どものいる層で、「中断再就職型」（50.4％）を希望する者が半数を占める。

図表 5-1-5 自分が理想とするライフコース（性・子どもの有無別）

(%)

				を結婚 せず、 仕事	継続は 結婚 する が 仕事	継続を 結婚 して、 子ども	子育て 出産 後に 退職 する	出産 後は 仕事を 持つ	その他	無 回 答
全 体 (n=7,593)				3.7	2.6	51.5	30.4	7.7	1.5	2.5
男 性	子 ど も は い ない	未 婚 (n=1,200)		11.5	2.8	74.5	4.3	1.5	2.9	2.5
		既 婚 (n=299)		0.9	11.3	76.6	5.4	2.3	1.2	2.3
	子どもがいる (n=1,370)			1.0	1.0	81.0	10.6	3.0	0.7	2.8
女 性	子 ど も は い ない	未 婚 (n=1,391)		6.3	4.3	35.1	39.2	9.9	2.7	2.5
		既 婚 (n=479)		2.5	7.2	36.6	38.5	11.5	0.8	2.9
	子どもがいる (n=2,499)			0.6	0.5	34.4	50.4	12.4	0.8	1.0

(2) 配偶者（パートナー）に望むライフコース

問 4 7 あなたの配偶者（パートナー）には、どのような人生を送ってほしいと思いますか（思っていましたか）。あてはまるものを1つお選びください。

図表 5-2-1

		子どもは仕事を続ける	子どもを持つが仕事を続ける	子育て後に退職し、子育てを子	出産後は仕事をし、その	その他	結婚するつもり	無回答
全 体	(n=7,593)	2.6	62.4	17.8	6.6	1.9	3.5	5.2
男 性	(n=2,996)	2.5	32.9	38.5	15.1	2.8	4.6	3.5
女 性	(n=4,519)	2.7	81.9	4.8	1.3	1.3	2.8	5.1

(%)

配偶者（パートナー）に望むライフコースとしては（図表 5-2-1）、「子どもを持つが、仕事も続ける（育児休業制度の利用を含む）」（以下、「就労継続型」）が 62.4%で最も多く、次いで「子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」（以下、「中断再就職型」）が 17.8%である。

男女別にみると（図表 5-2-1）、女性は 8 割以上が、夫に対して「就労継続型」（81.9%）の生き方を望んでいる。一方、男性では、妻に対して「中断再就職型」の生き方（38.5%）を望む者が 4 割弱で最も多く、次いで「就労継続型」（32.9%）が多くなっている。

妻に、「子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない」人生（以下、「結婚・出産退職型」）を望む男性は 15.1%である。

〈参考：全国調査〉

全国調査でも、府民調査と同様の結果となり、女性は 8 割以上が、夫に対して「就労継続型」（82.0%）の生き方を望む一方で、男性では、妻に対して「中断再就職型」の生き方（39.8%）を望む者が 4 割で最も多く、次いで「就労継続型」（36.2%）が多くなっている。

参考 5-2 配偶者（パートナー）に望むライフコース

		子どもは仕事を続ける	子どもを持つが仕事を続ける	子育て後に退職し、子育てを子	出産後は仕事をし、その	その他	結婚するつもり	無回答
全 体	(n=1,226)	3.3	61.2	21.0	6.9	1.1	3.3	5.2
男 性	(n=558)	2.2	36.2	39.8	13.4	2.3	3.8	3.5
女 性	(n=668)	4.3	82.0	5.4	1.3	0.1	3.0	5.1

(%)

性・年代別にみると（図表 5-2-2）、女性ではいずれの年代でも 8 割前後が、夫に対して「就労継続型」を望んでいる。一方、男性では 30～34 歳の年代で、妻に対して「就労継続型」（37.5%）を望む者が、「中断再就職型」（36.6%）という者をわずかに上回っているが、他の年代では、「中断再就職型」を望む者が最も多くなっている。

図表 5-2-2 配偶者（パートナー）に望むライフコース（性・年代別）

(%)

		仕事は 続ける つもり	子ども もは つくる つもり	子育て しながら 働く	出産後 は仕事を 辞めたい	その他	結婚 する つもり	無 回 答
全	体 (n=7,593)	2.6	62.4	17.8	6.6	1.9	3.5	5.2
男 性	20～24 歳 (n=392)	0.9	30.2	35.7	17.7	4.7	5.6	5.3
	25～29 歳 (n=402)	3.1	30.3	40.1	12.2	2.8	5.8	5.6
	30～34 歳 (n=583)	2.2	37.5	36.6	12.8	4.4	4.4	2.1
	35～39 歳 (n=720)	1.9	34.2	42.6	14.2	1.1	2.9	3.1
	40～44 歳 (n=886)	3.7	31.2	37.1	17.5	2.1	5.2	3.2
	20～24 歳 (n=505)	2.2	83.5	4.3	0.7	1.7	4.0	3.5
女 性	25～29 歳 (n=689)	2.9	83.5	5.1	0.7	0.9	2.4	4.5
	30～34 歳 (n=871)	1.8	86.0	3.5	1.0	1.1	2.5	4.1
	35～39 歳 (n=1,147)	2.1	82.6	5.0	1.4	1.0	1.9	6.0
	40～44 歳 (n=1,292)	3.9	77.1	5.8	1.9	1.9	3.7	5.8

性・地域別にみると（図表 5-2-3）、丹後地域で、妻に「就労継続型」を望む男性が 50.1%と、他の地域より多くなっている。

図表 5-2-3 配偶者（パートナー）に望むライフコース（性・地域別）

(%)

			仕事 子ども を は 続 け た ず	仕事 子ども も を 続 け つ が	持 育 出 つ て 産 後 に 退 職 し を 子	た の 出 な 後 は 退 職 し 持 そ	そ の 他	は 結 婚 す る つ も り	無 回 答
男 性	全 体 (n=7,593)		2.6	62.4	17.8	6.6	1.9	3.5	5.2
	京 都 市 (n=905)		2.5	33.7	37.7	15.7	3.2	3.8	3.4
	丹 後 (n=368)		1.7	50.1	33.4	6.2	2.9	2.6	3.1
	中 丹 (n=266)		3.0	32.6	40.5	13.3	0.9	6.6	3.2
	南 丹 (n=252)		2.7	30.3	45.2	8.9	1.6	5.9	5.4
	乙 訓 (n=259)		1.5	37.7	36.7	12.4	3.4	7.4	0.9
	学 研 都 市 (n=278)		2.0	33.5	39.8	16.7	2.4	2.6	3.0
	相 楽 東 部 (n=156)		3.2	33.4	39.2	10.3	3.9	5.1	4.9
	山 城 北 (n=477)		2.9	25.0	39.8	18.9	2.6	6.7	4.0
女 性	京 都 市 (n=1,478)		2.7	82.5	4.9	1.2	1.3	3.0	4.4
	丹 後 (n=458)		2.2	81.9	5.2	0.6	0.6	2.6	6.9
	中 丹 (n=374)		2.3	81.3	3.8	1.1	2.7	2.6	6.3
	南 丹 (n=374)		1.8	81.9	6.9	1.4	0.5	4.4	3.1
	乙 訓 (n=429)		3.2	83.8	2.7	1.3	0.8	1.6	6.7
	学 研 都 市 (n=447)		3.1	85.1	4.7	0.7	0.8	0.8	4.9
	相 楽 東 部 (n=230)		2.7	79.0	5.4	1.5	1.5	3.9	6.0
	山 城 北 (n=689)		2.8	78.5	5.1	1.7	1.3	3.2	7.4

性・就労状況別にみると（図表 5-2-4）、男性の正規雇用者では、妻に「中断再就職型」を望む者が 42.8%と、他の就労状況より多くなっている。

学生以外のその他無職の男性では、「結婚するつもりはない」という者が 23.9%である。

図表 5-2-4 配偶者（パートナー）に望むライフコース（性・就労状況別）

			仕事 子ども は持た ず	仕事 子ども を持っ て	持 育 出 つ て 産 後 に 退 職 し を 子	た の 出 な 後 産 後 は 仕 退 職 を 持 そ	そ の 他	は 結 婚 す る つ も り	無 回 答
全 体		(n=7,593)	2.6	62.4	17.8	6.6	1.9	3.5	5.2
男 性	正 規 雇 用	(n=1,875)	2.1	32.4	42.8	15.1	2.3	2.9	2.4
	非 正 規 雇 用	(n=379)	5.2	36.1	31.8	11.6	2.0	7.0	6.2
	そ の 他 有 職	(n=332)	2.4	34.9	34.0	17.8	4.4	1.1	5.4
	学 生	(n=213)	1.4	35.9	33.7	18.1	5.5	4.6	0.7
	そ の 他 無 職	(n=164)	4.1	25.2	22.0	12.7	4.1	23.9	8.0
女 性	正 規 雇 用	(n=1,421)	2.4	83.9	4.6	0.6	1.0	2.9	4.7
	非 正 規 雇 用	(n=1,598)	2.9	79.2	5.7	1.7	1.5	2.9	6.0
	そ の 他 有 職	(n=317)	1.5	82.1	5.2	0.9	3.2	2.9	4.1
	学 生	(n=205)	3.0	82.8	0.7	1.4	1.5	4.4	6.1
	そ の 他 無 職	(n=945)	2.8	83.6	4.6	1.6	0.8	2.4	4.2

性・子どもの有無別にみると（図表 5-2-5）、子どものいない男性では、妻に対して「就労継続型」（未婚 35.3%、既婚 34.8%）の生き方を望む者が、「中断再就職型」（同 32.1%、33.3%）という者をわずかに上回っているが、子どもがいる男性では「中断再就職型」が 46.1%にのぼる。

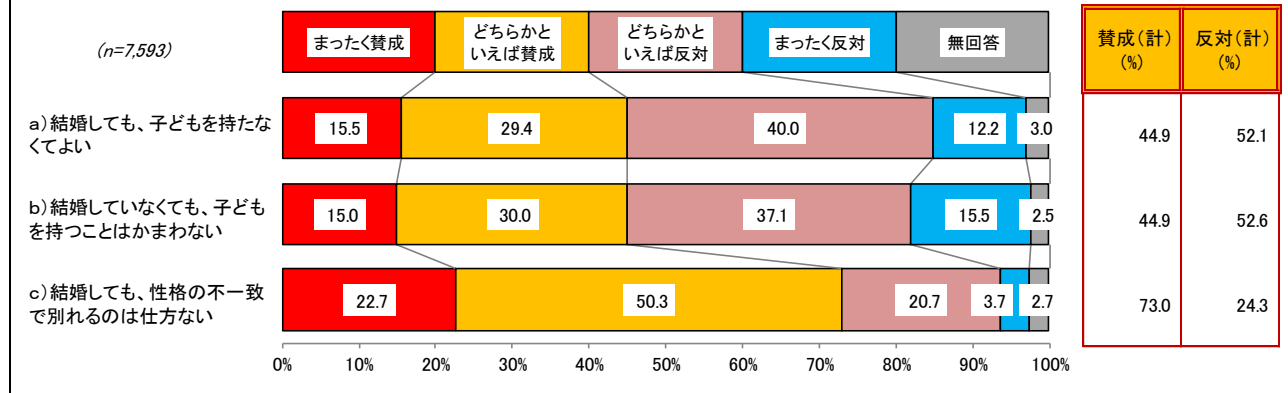
図表 5-2-5 配偶者（パートナー）に望むライフコース（性・子どもの有無別）

				仕事 子ども は持た ず	仕事 子ども を持っ て	持 育 出 つ て 産 後 に 退 職 し を 子	た の 出 な 後 産 後 は 仕 退 職 を 持 そ	そ の 他	は 結 婚 す る つ も り	無 回 答
全 体			(n=7,593)	2.6	62.4	17.8	6.6	1.9	3.5	5.2
男 性	子 ど も い な い	未 婚	(n=1,200)	3.4	35.3	32.1	10.8	3.3	11.0	4.1
		既 婚	(n=299)	9.0	34.8	33.3	14.5	4.3	1.2	2.8
	子どもがいる		(n=1,370)	0.3	30.7	46.1	19.3	2.1	0.2	1.3
女 性	子 ど も い な い	未 婚	(n=1,391)	4.6	75.7	4.2	0.9	1.5	6.9	6.2
		既 婚	(n=479)	7.2	79.7	4.5	1.5	2.6	1.3	3.1
	子どもがいる		(n=2,499)	0.7	86.3	5.4	1.4	0.9	0.8	4.5

(3) 結婚、家庭、子どもについての考え

問 4 8 結婚、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下記の a) ～ c) のような考え方について、あなたご自身のお考えに最も近いものを、それぞれ 1 つずつお選びください。

図表 5-3-1



結婚、家庭、子どもについて、“結婚しても、子どもを持たなくてよい” “結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない” “結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない” という、3つの考え方を示して、それぞれに対する意見を聞いた（図表 5-3-1）。

“結婚しても、子どもを持たなくてよい” という考え方については、「まったく賛成」という者が 15.5%で、「どちらかといえば賛成」（29.4%）という者を合わせると、4 割以上が『賛成』（44.9%）と回答している。

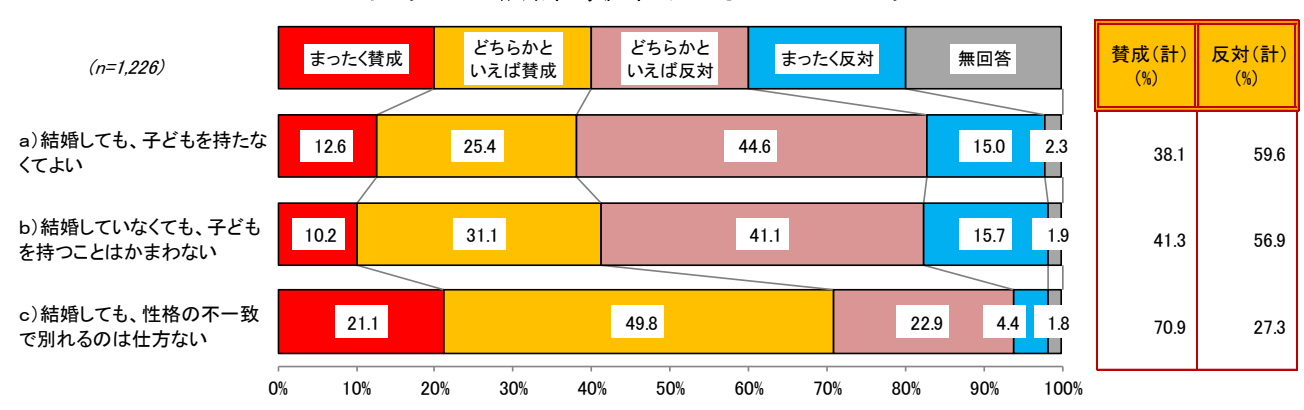
“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”という考え方についても、「まったく賛成」という者が 15.0%で、「どちらかといえば賛成」（30.0%）という者を合わせると、『賛成』が 44.9%となり、上記の考え方に対する意見とほぼ同じ結果となっている。

一方、“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という考え方に「まったく賛成」という者は 22.7%で、「どちらかといえば賛成」（50.3%）を合わせると、7 割以上が『賛成』（73.0%）している。

〈参考：全国調査〉

全国調査でも、“結婚しても、子どもを持たなくてよい”と“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”に『賛成』という者が 4 割前後、“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という考え方には約 7 割が『賛成』しているが、府民調査の方が、やや賛成者が多い。

参考 5-3 結婚、家庭、子どもについての考え



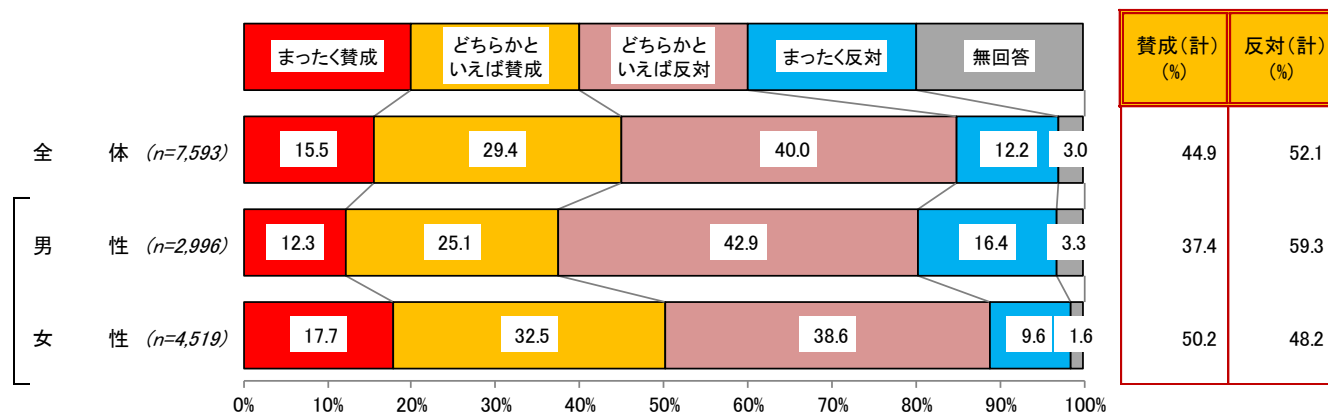
それぞれの考え方について男女別にみると（図表 5-3-2）、「結婚しても、子どもを持たなくてよい」という考え方に「まったく賛成」（男性 12.3%、女性 17.7%）という者は女性が男性を 5 ポイント上回り、「どちらかといえば賛成」（同 25.1%、32.5%）という者を合わせると、『賛成』する者は女性の約半数となっている。

“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”という考え方については男女差が小さく、「まったく賛成」（男性 14.4%、女性 15.6%）もしくは「どちらかといえば賛成」（同 28.9%、31.0%）という者を合わせた『賛成』は、男性 43.2%、女性 46.5%である。

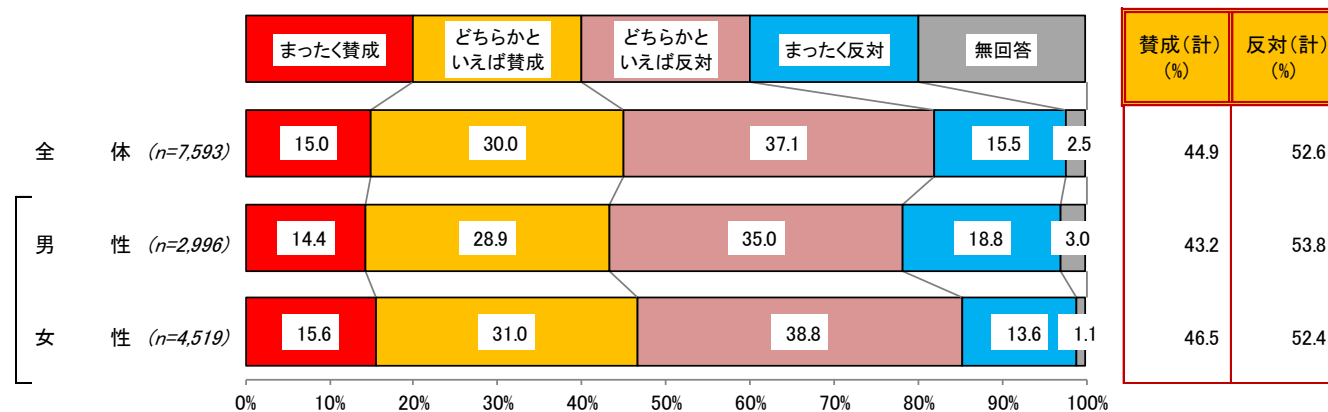
“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という考え方については、「まったく賛成」（男性 18.8%、女性 25.5%）という者は女性が男性を 7 ポイント上回り、「どちらかといえば賛成」（同 47.4%、52.6%）という者を合わせると、『賛成』する者は、男性 66.3%、女性 78.1%となっている。

図表 5-3-2 結婚、家庭、子どもについての考え

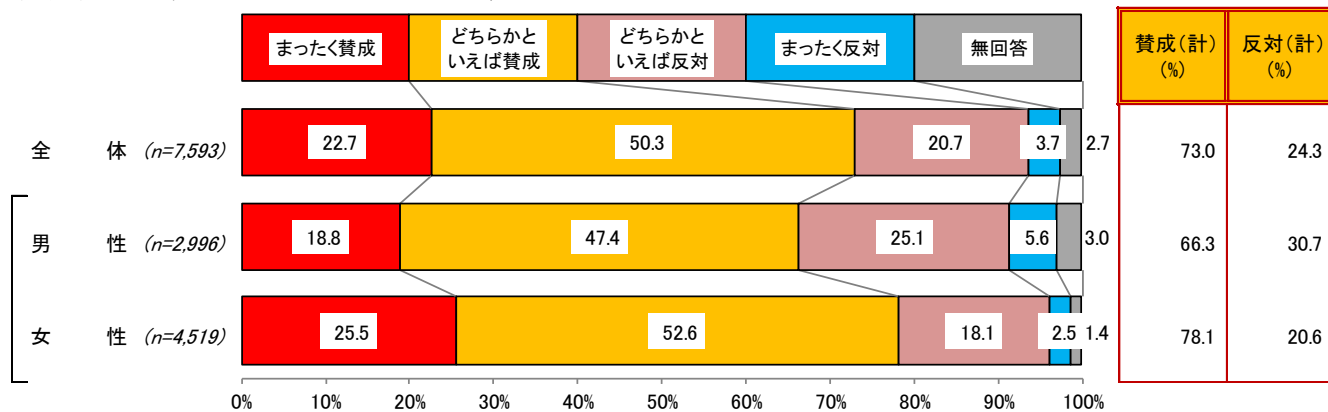
a) 結婚しても子どもを持たなくてよい



b) 結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない



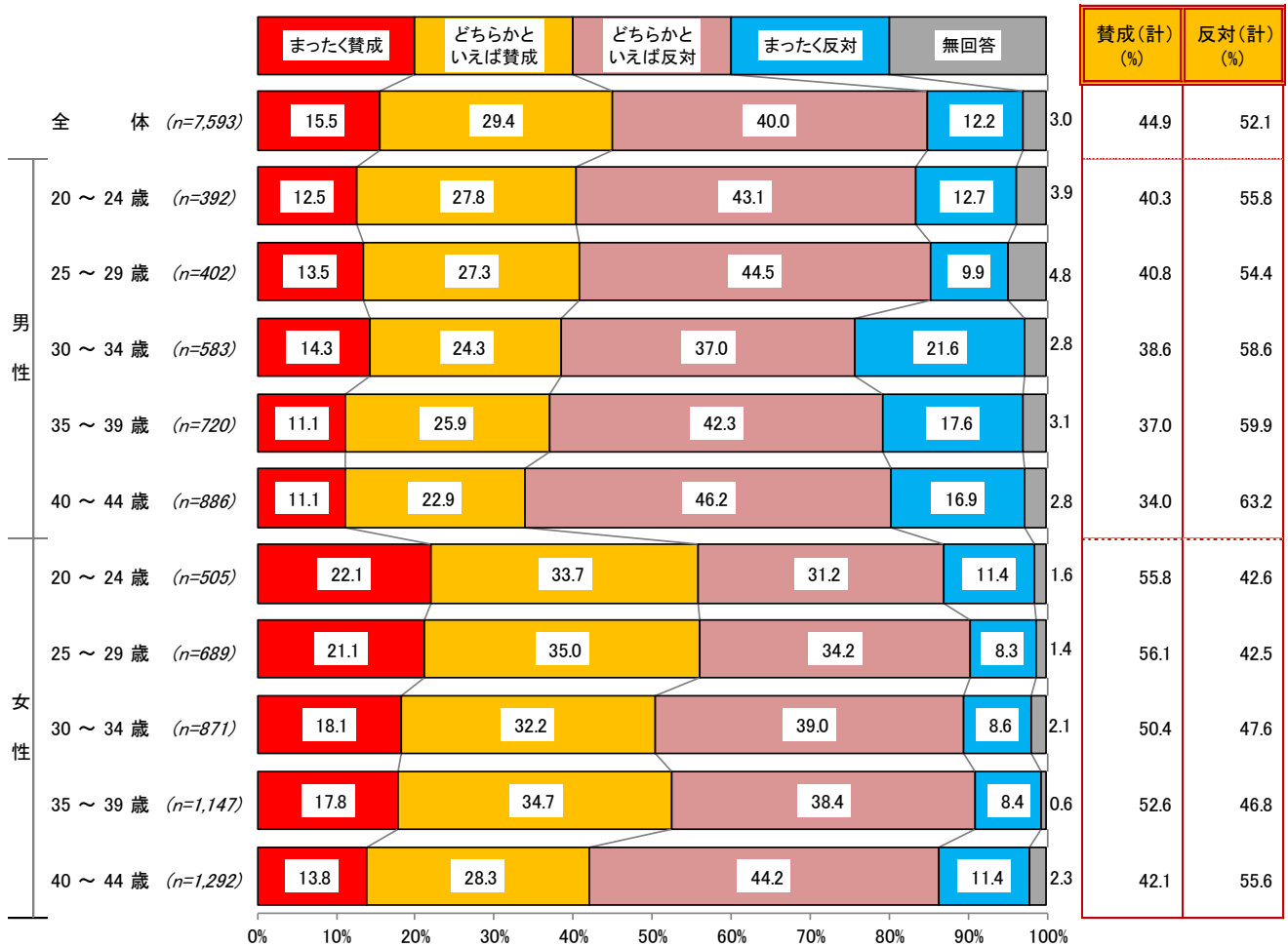
c) 結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない



“結婚しても、子どもを持たなくてよい”という考え方について性・年代別にみると（図表 5-3-3）、
「まったく賛成」という者は、女性で若い年代ほど多く、20 歳代では『賛成』（20～24 歳 55.8%、
25～29 歳 56.1%）が過半数である。一方、男性でも若い年代に『賛成』の者が多いが、女性よりは
年代の差が小さい。

図表 5-3-3 結婚、家庭、子どもについての考え：“結婚しても、子どもを持たなくてよい”

（性・年代別）

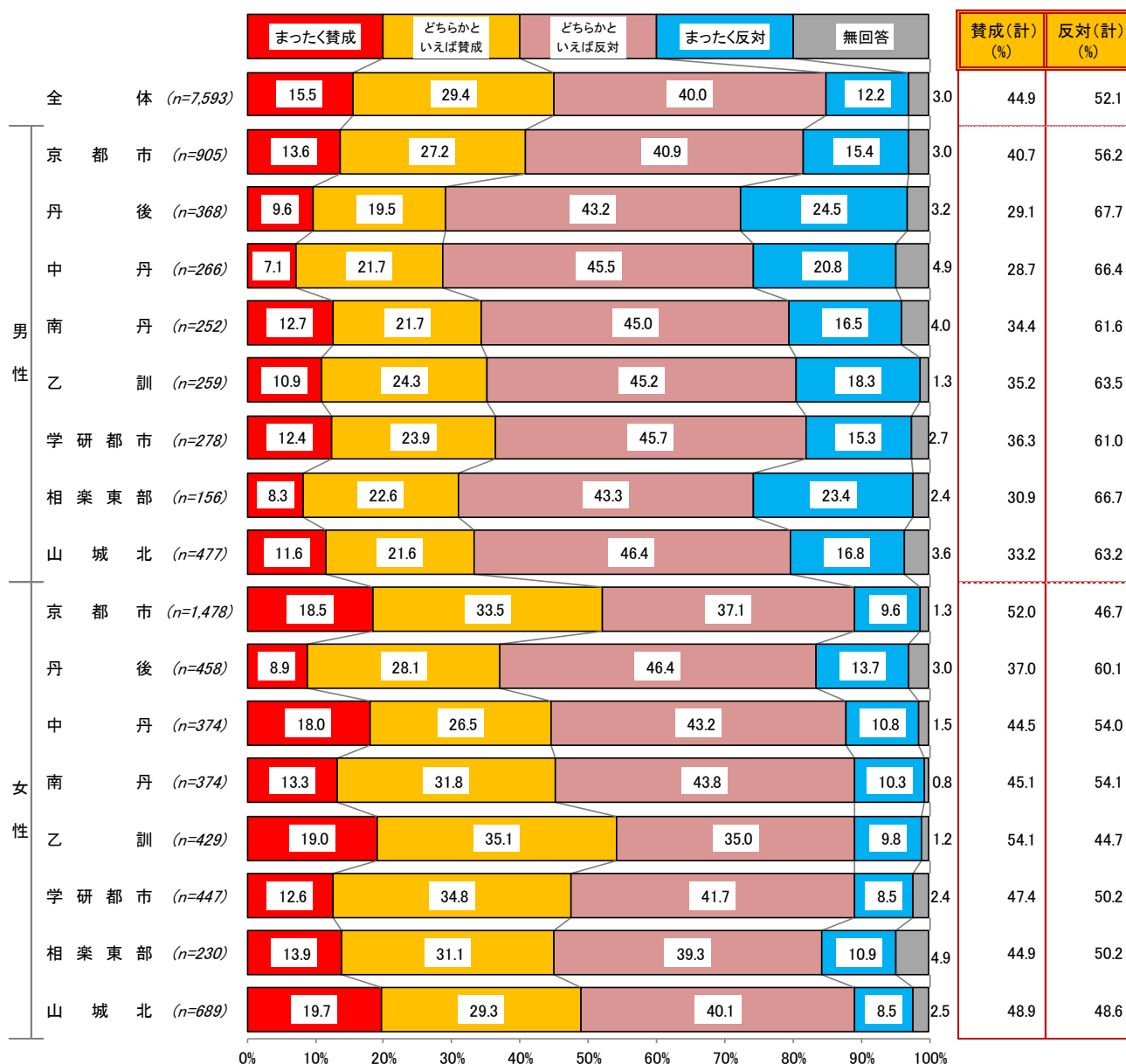


性・地域別にみると（図表 5-3-4）、「結婚しても子どもを持たなくてよい」という考え方に『賛成』する者は女性の乙訓居住者（54.1%）と京都市居住者（52.0%）で過半数を占めている。一方、丹後居住者では、「まったく賛成」（8.9%）という者が 1 割にとどかず、「まったく反対」（13.7%）もしくは「どちらかといえば反対」（46.4%）と答えた『反対』（60.1%）が 6 割を占め、他の地域に居住する女性より多くなっている。

一方、男性では、京都市居住者で『賛成』が 40.7%と他の地域より多い。丹後、相楽東部、中丹居住の男性では『反対』（丹後 67.7%、相楽東部 66.7%、中丹 66.4%）が 7 割近い。

図表 5-3-4 結婚、家庭、子どもについての考え：“結婚しても、子どもを持たなくてよい”

（性・地域別）

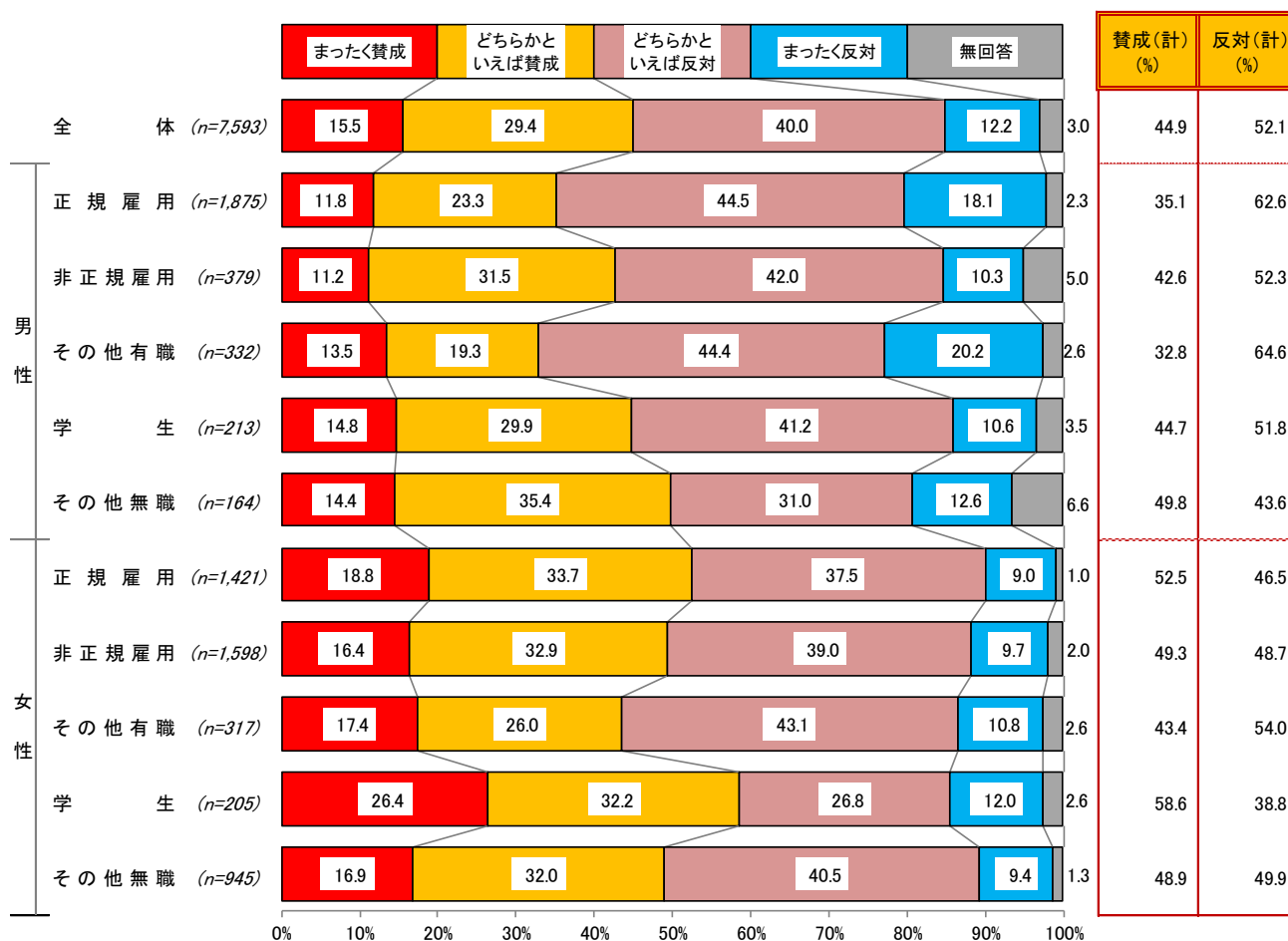


性・就労状況別にみると（図表 5-3-5）、女子学生では「まったく賛成」という学生が 26.4%と目立って多く、6 割近くが“結婚しても、子どもを持たなくてよい”という考え方に『賛成』（58.6%）している。また、女性の正規雇用者でも『賛成』は 52.5%と過半数を占めている。

一方、男性では、学生以外のその他無職で、『賛成』（49.8%）が 5 割と、男性の他の就労状況層より多くなっている。

図表 5-3-5 結婚、家庭、子どもについての考え：“結婚しても、子どもを持たなくてよい”

（性・就労状況別）

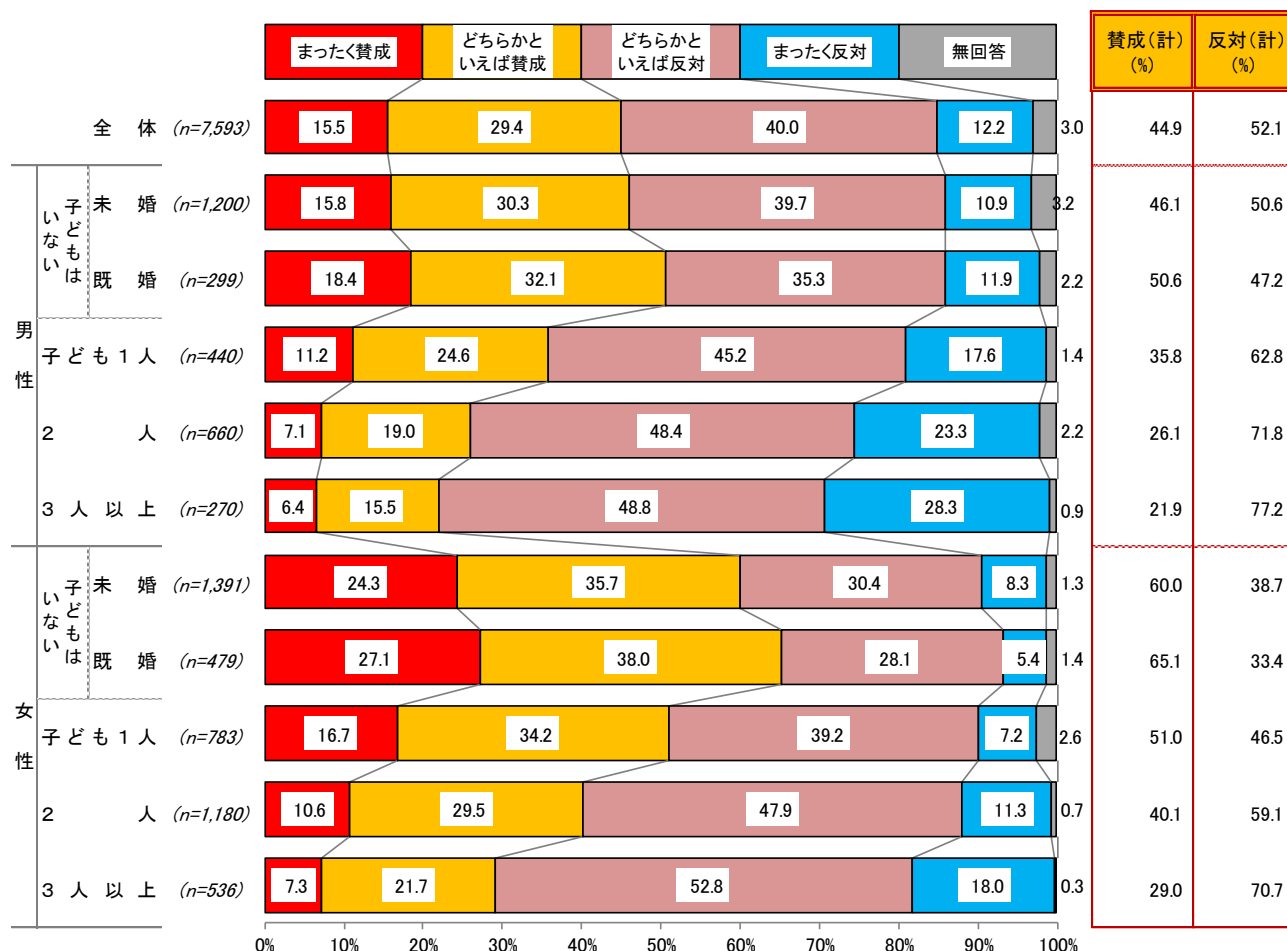


さらに、性・子どもの人数別にみると（図表 5-3-6）、男女とも子どもの人数が多い層ほど、“結婚しても、子どもを持たなくてよい”という考え方に『反対』する者が多くなり、男性では子ども 2 人以上（2 人 71.8%、3 人 77.2%）、女性では 3 人以上（70.7%）の者で 7 割を上回っている。

一方、女性で子どものいない層では「まったく賛成」（未婚 24.3%、既婚 27.1%）という者が 2 割を上回り、6 割以上が『賛成』（同 60.0%、65.1%）と回答している。

図表 5-3-6 結婚、家庭、子どもについての考え：“結婚しても、子どもを持たなくてよい”

（性・子どもの人数別）

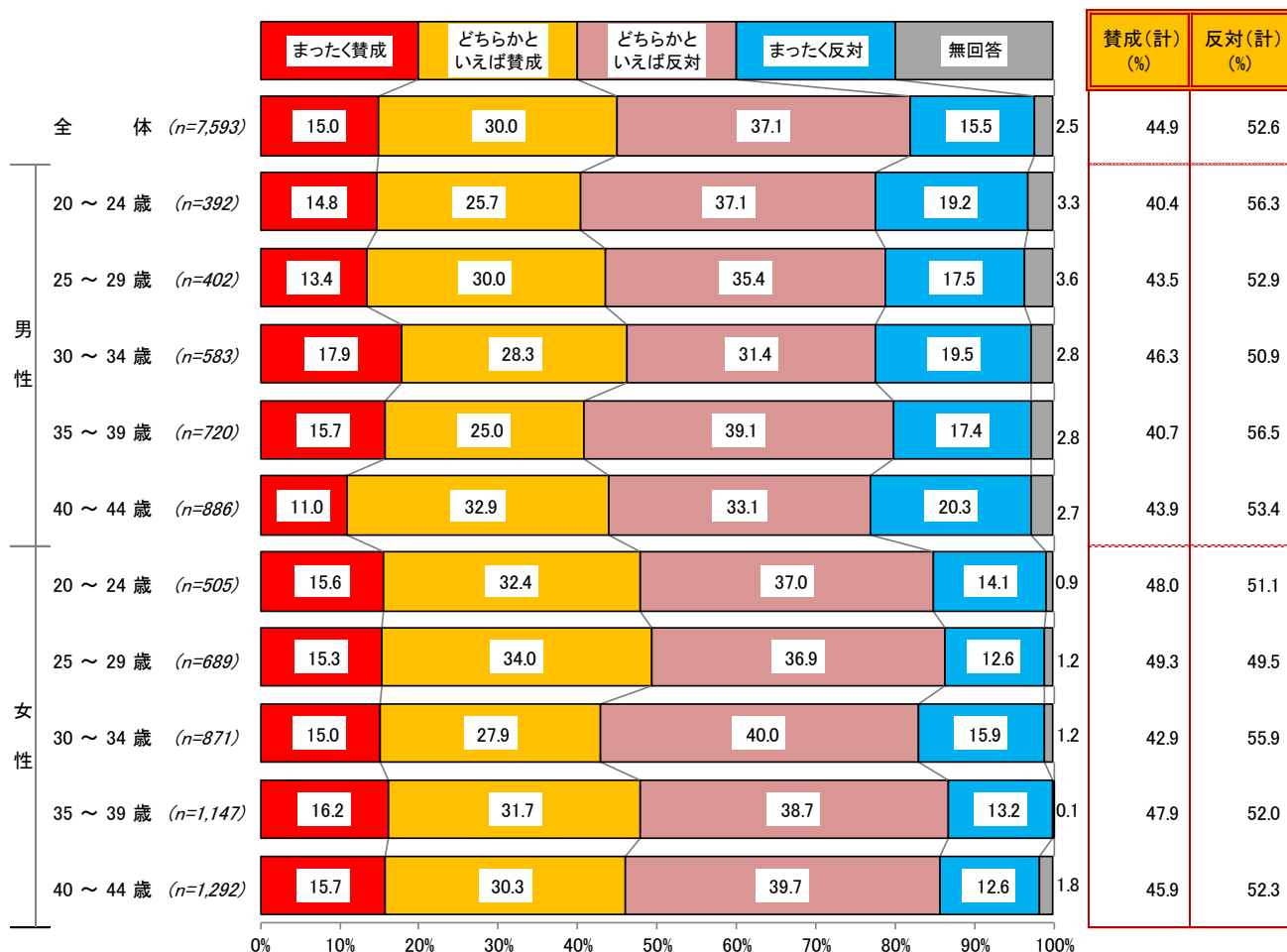


“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”という考え方について性・年代別に大きな差はみられないが（図表 5-3-7）、女性の 30～34 歳では『賛成』が 42.9%で、『反対』（55.9%）という者が女性の中では最も多くなっている。

一方、同年代の男性では『賛成』が 46.3%で男性の中では最も多く、20～24 歳と 35～39 歳で『反対』（20～24 歳 56.3%、35～39 歳 56.5%）が多くなっている。

図表 5-3-7 結婚、家庭、子どもについての考え：

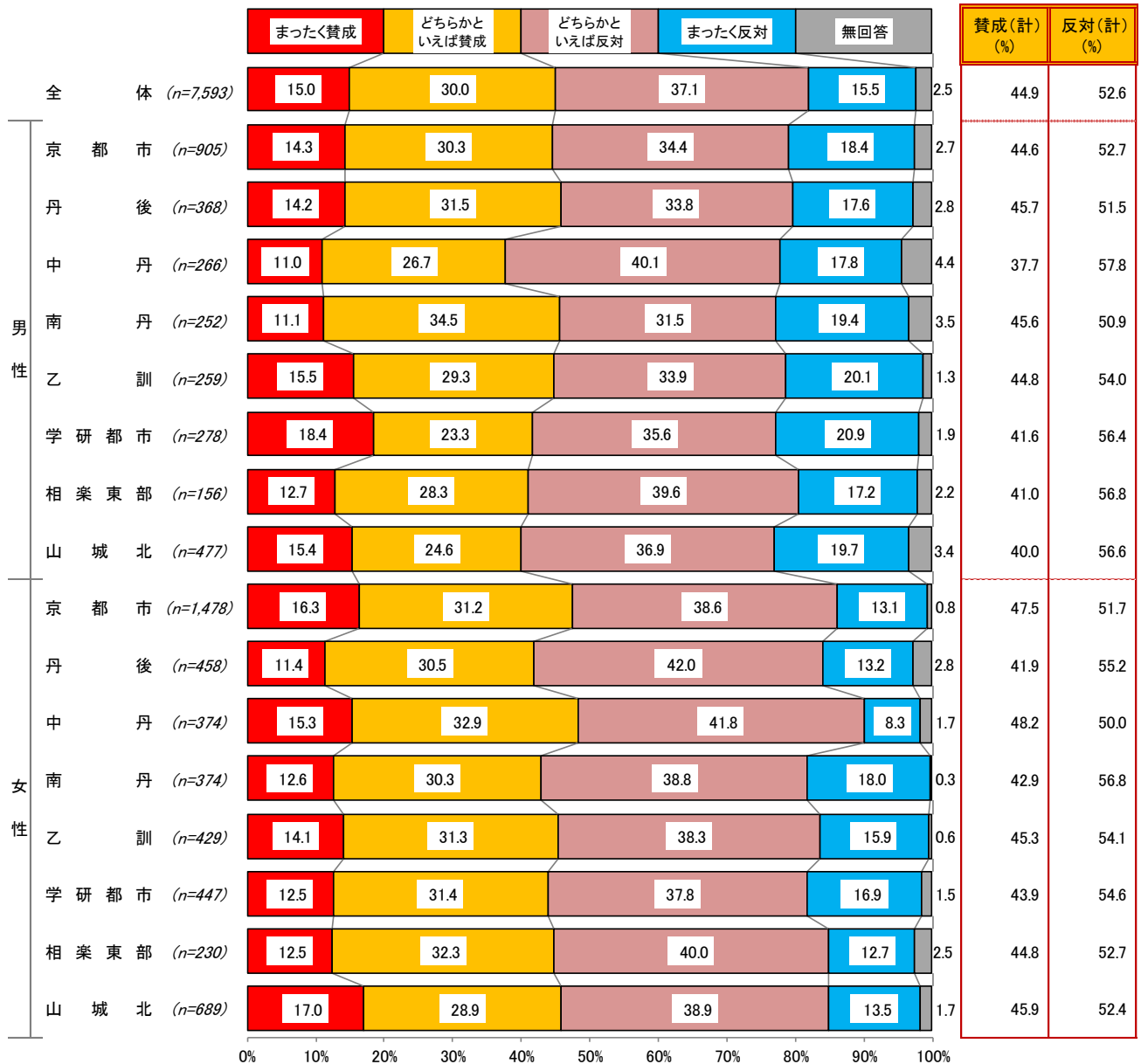
“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”（性・年代別）



性・地域別にも大きな差はみられないが（図表 5-3-8）、女性の京都市と中丹居住者に『賛成』（京都市 47.5%、中丹 48.2%）が半数近くでやや多くなっている。

図表 5-3-8 結婚、家庭、子どもについての考え：

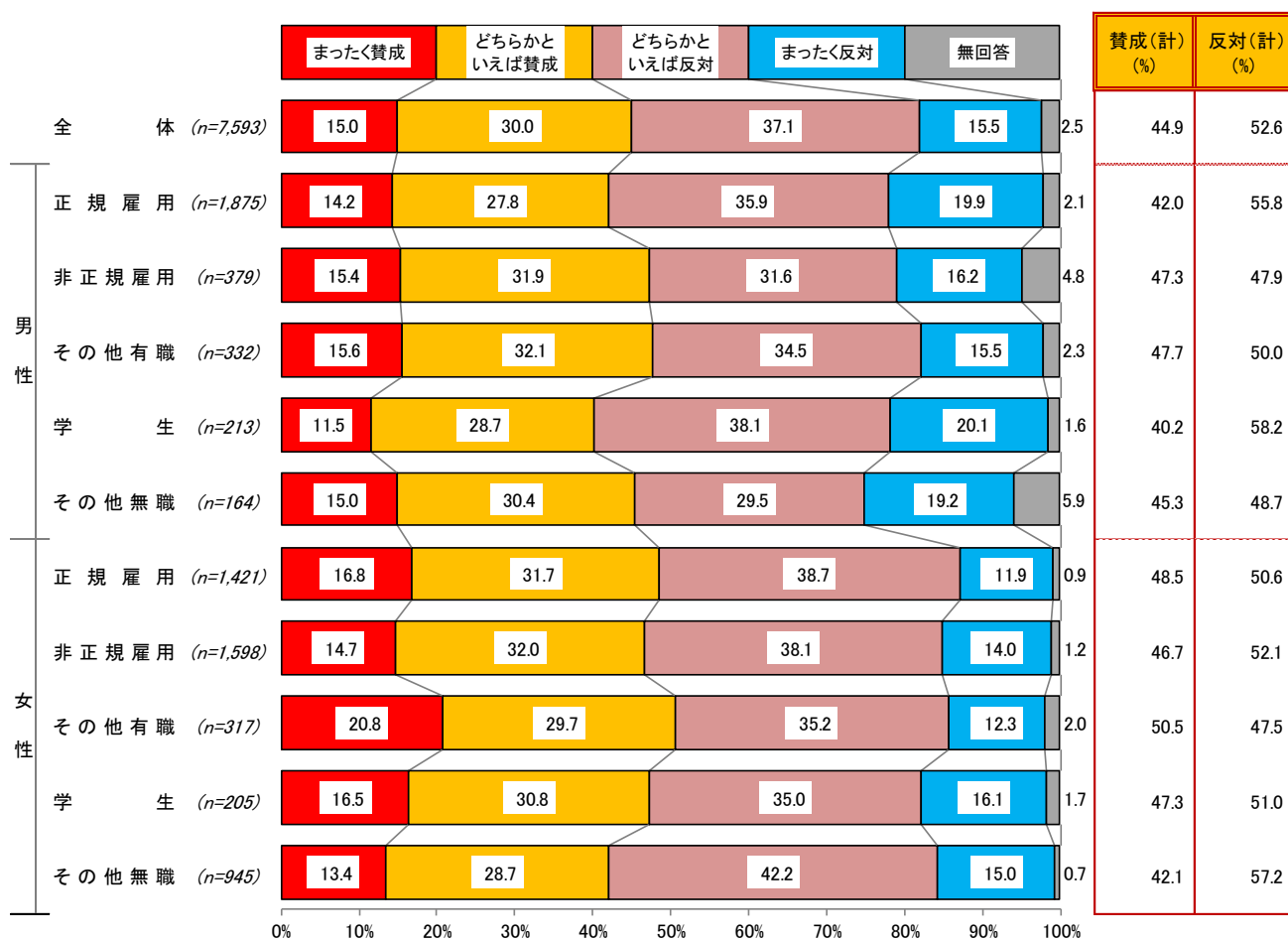
“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”（性・地域別）



性・就労状況別にみると（図表 5-3-9）、女性では、学生以外のその他無職で『反対』が 57.2%で、女性の中では最も多くなっている。一方、男性では学生で『反対』（58.2%）という者が 6 割近い。一方、自営業と内職を含むその他有職と非正規雇用者で『賛成』（その他 47.7%、非正規 47.3%）という者が他の職業層より多くなっている。

図表 5-3-9 結婚、家庭、子どもについての考え：

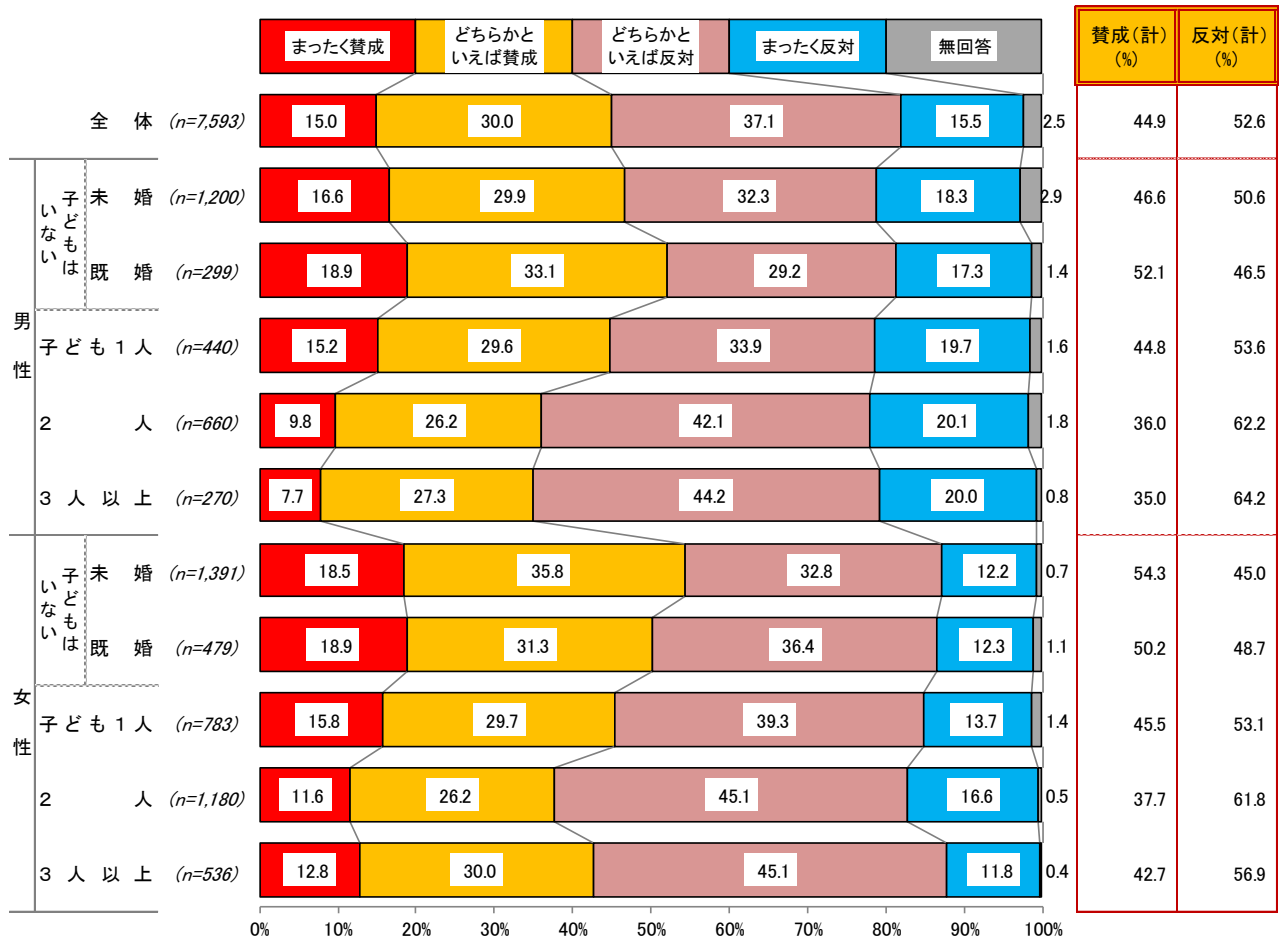
“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”（性・就労状況別）



性・子どもの人数別にみると（図表 5-3-10），“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”という考え方に『賛成』という者は、女性の子どものいない層（未婚 54.3%、既婚 50.2%）と男性の既婚で子どものいない層（52.1%）で半数を上回って多くなっている。また、男性では子どもの人数が多い層ほど『反対』が多くなっている。

図表 5-3-10 結婚、家庭、子どもについての考え：

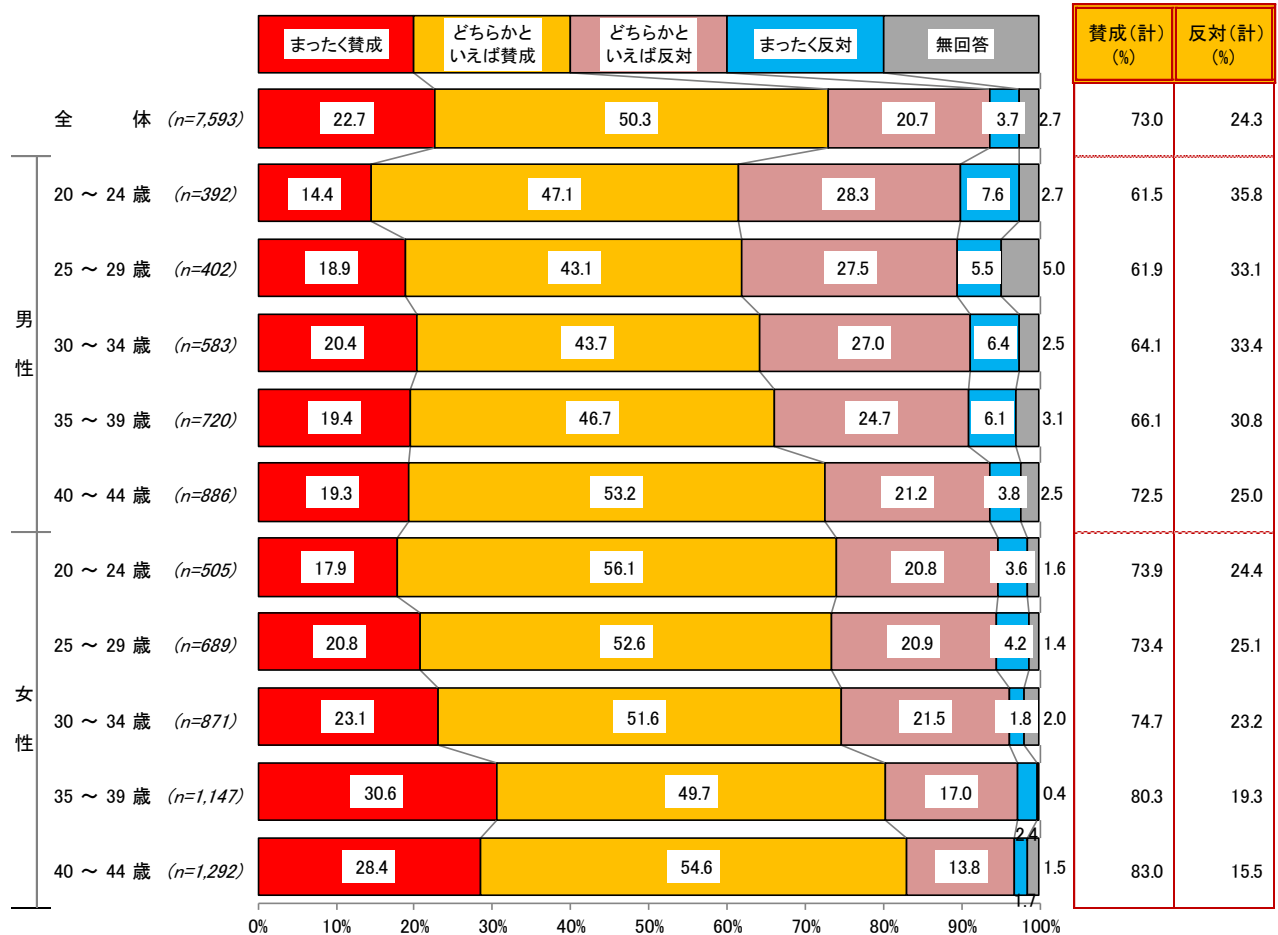
“結婚していなくても、子どもを持つことはかまわない”（性・子どもの人数別）



“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という考え方について性・年代別にみると（図表 5-3-11）、男女とも年代が高い層ほど『賛成』という者が多くなっているが、男性で「まったく賛成」という者は 25 歳以上で 2 割前後であるのに対して、女性では 35 歳以上になると 3 割前後で、男女差が大きい。女性の 40～44 歳では、『賛成』が 83.0%にのぼる。

図表 5-3-11 結婚、家庭、子どもについての考え：

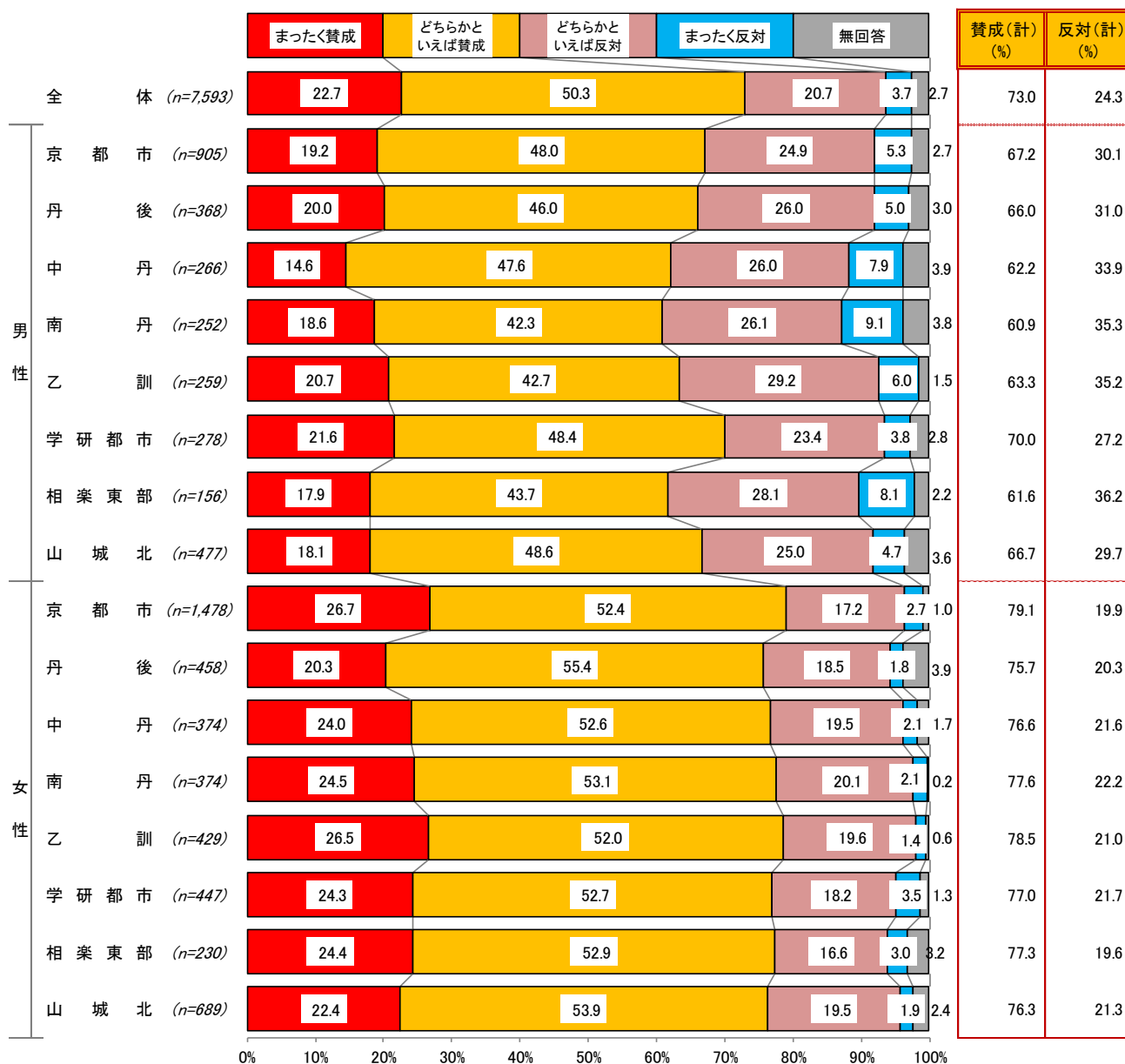
“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”（性・年代別）



性・地域別にみると（図表 5-3-12）、女性は地域による差が小さく、いずれの地域でも『賛成』という者が 8 割近い。一方、男性では、学研都市居住者に『賛成』という者が 70.0%と、他の地域より多い。相楽東部、南丹、乙訓地域居住者には、『反対』（相楽東部 36.2%、南丹 35.3%、乙訓 35.2%）という者が他の地域より多くなっている。

図表 5-3-12 結婚、家庭、子どもについての考え：

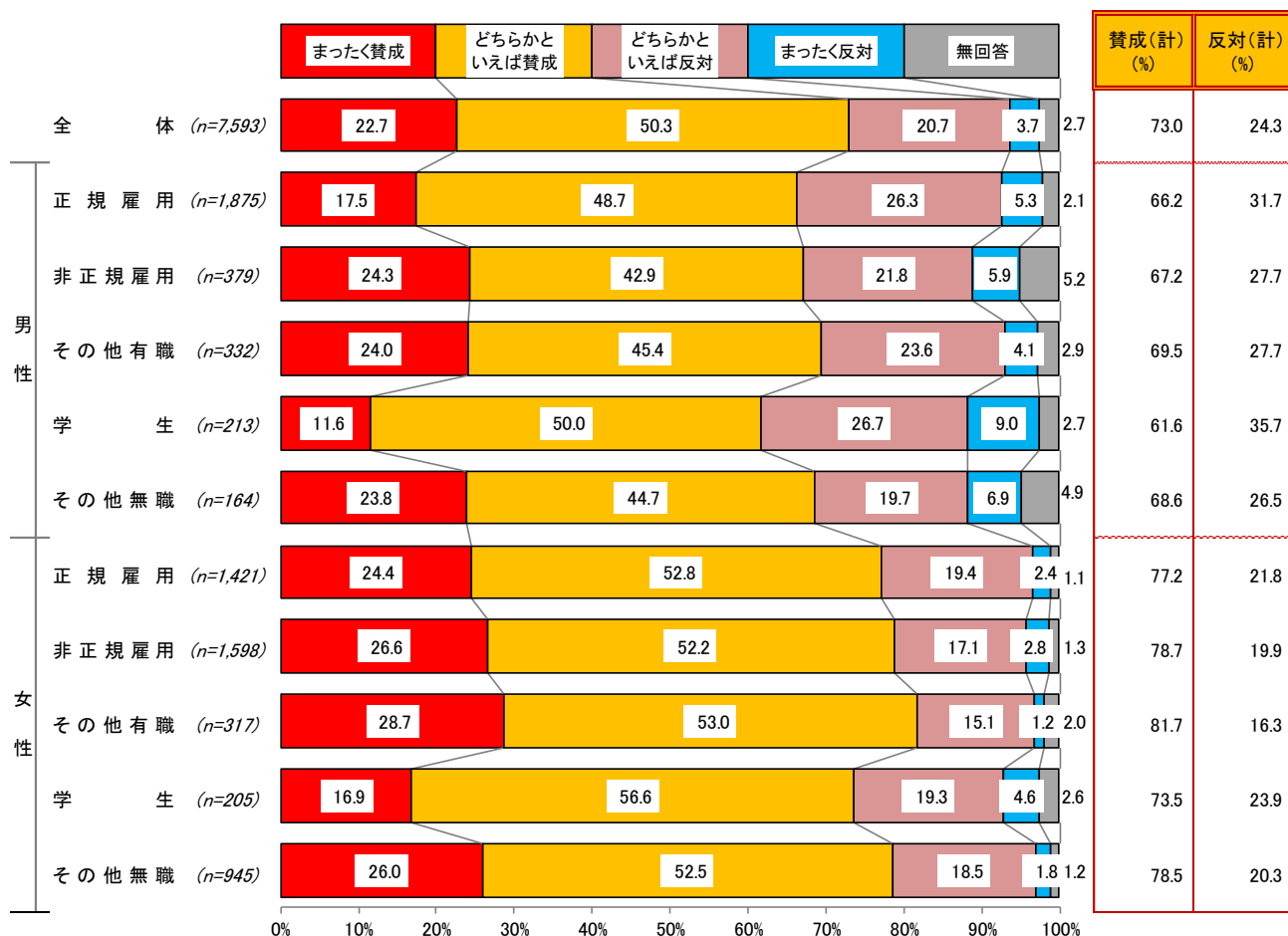
“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”（性・地域別）



性・就労状況別にみると（図表 5-3-13），“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”という考え方に『賛成』という者は、自営業や内職を含むその他有職の女性で 81.7%と、特に多くなっている。これに対して、『反対』という者は、男子学生で 35.7%と、他の性・就労層よりも多くなっている。

図表 5-3-13 結婚、家庭、子どもについての考え：

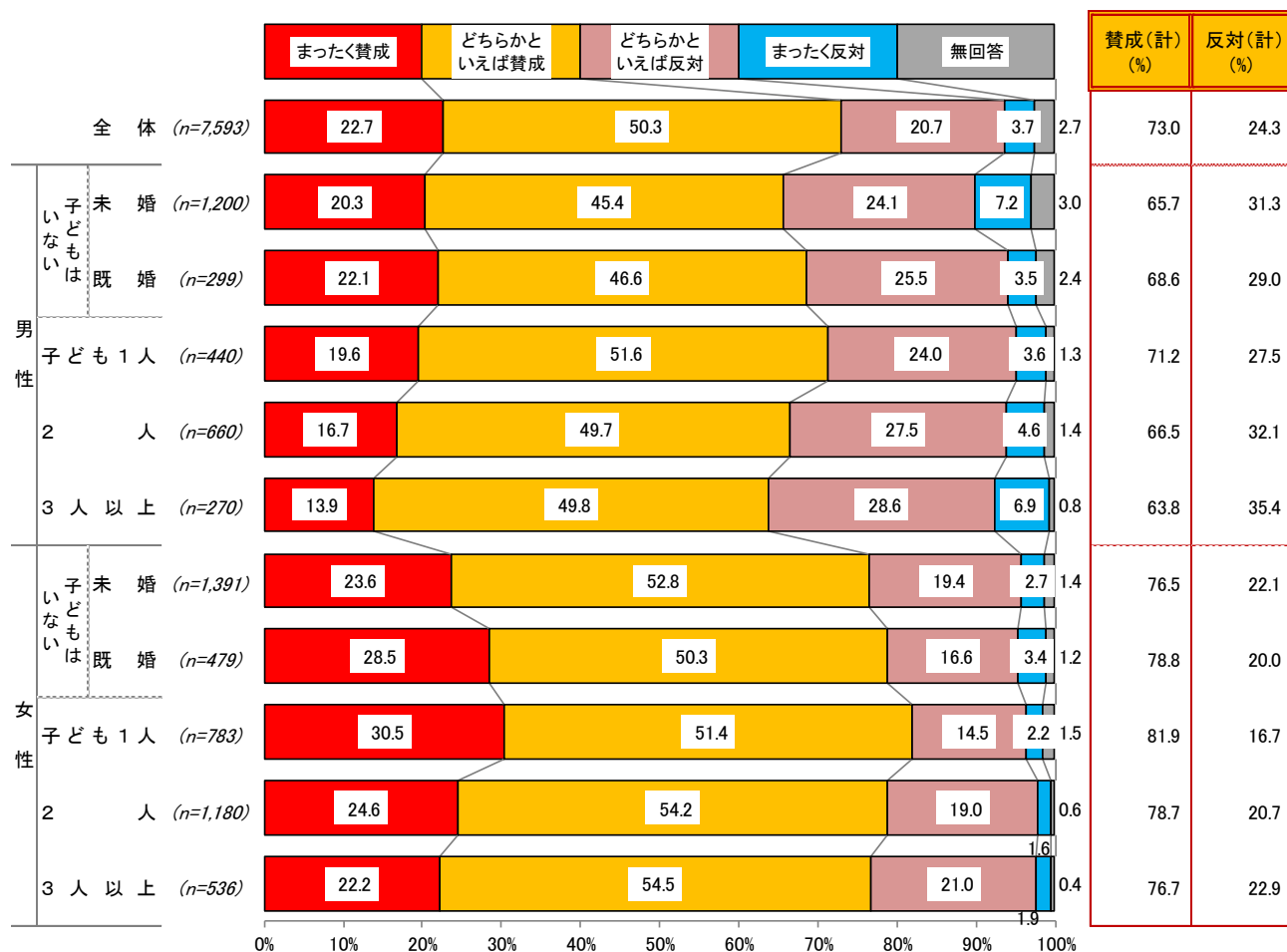
“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”（性・就労状況別）



さらに、性・子どもの人数別にみると（図表 5-3-14）、男女とも子どもが 1 人の層で、『賛成』という者が、それぞれ性別の中で最も多いが、子どもの人数が多くなると『反対』の者が多くなっている。

図表 5-3-14 結婚、家庭、子どもについての考え：

“結婚しても、性格の不一致で別れるのは仕方ない”（性・子どもの人数別）



(4) 今後、子どもを持つ条件

問49 あなたご自身が今後、子どもを持つ場合（既に子どもがいる人は、さらに子どもを持つ場合）の状況としては、どんなことが考えられますか。あてはまるものを5つまでお選びください。

図表 5-4-1

		教育にお金 があまりか からないこ と	健康上の 問題がない こと	雇用が安定 すること	結婚するこ と	地域の保育 サービスの利 用に、あまり お金がかか らないこと	地域の保育 サービスが整 うこと（保 育所や一時預 かりなど）	配偶者の家事 ・育児への協 力が得られる こと	職場に、働き ながら子育て ができる制度 があること	職場の上司や 、同僚の理解 があること	家がある程度 広いこと	住居にお金 があまりかか らないこと	自分または 配偶者が高 齢でないこと	配偶者以外 の家族が、近 居または同居 できること	出産・育児 について相談 できる地域 の人がいるこ と	不妊治療が 受けられるこ と	自分の昇進・ 昇格に差し支 えがないこと	その他	特にな い	無 回 答
全 体	(n=7,593)	43.0	39.0	36.8	36.4	35.4	33.1	30.6	29.7	22.5	21.9	21.6	21.1	7.6	6.9	5.1	4.7	1.9	4.2	2.3
男 性	(n=2,996)	43.2	37.3	45.2	39.4	34.1	29.4	18.0	22.2	18.8	24.9	25.0	19.3	6.2	6.0	3.1	5.5	1.9	5.4	2.4
女 性	(n=4,519)	43.3	40.5	31.8	34.9	36.7	35.9	39.0	34.8	25.1	20.2	19.8	22.5	8.7	7.5	6.4	4.3	1.9	3.5	1.2

今後、（さらに）子どもを持つ場合の条件としては（図表 5-4-1）、「教育にお金がかからないこと」が 43.0%で最も多くあげられ、「健康上の問題がないこと」（39.0%）、「雇用が安定すること」（36.8%）、「結婚すること」（36.4%）、「地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと」（35.4%）、「地域の保育サービスが整うこと（保育所や一時預かりなど）」（33.1%）、「配偶者の家事・育児への協力が得られること」（30.6%）が、いずれも 3 割台で続いている。

男女別にみると（図表 5-4-1）、「雇用が安定すること」（男性 45.2%、女性 31.8%）、「住居にお金がかからないこと」（同 25.0%、19.8%）、「家がある程度広いこと」（同 24.9%、20.2%）は、女性より男性に、「配偶者の家事・育児への協力が得られること」（同 18.0%、39.0%）、「地域の保育サービスが整うこと」（同 29.4%、35.9%）、「職場に、働きながら子育てができる制度があること」（同 22.2%、34.8%）、「職場の上司や、同僚の理解があること」（同 18.8%、25.1%）などは男性より女性に、それぞれ多くあげられている。

〈参考：全国調査〉

全国調査では、上位 5 項目は府民調査と同様に、「教育にお金がかからないこと」(43.8%)、「健康上の問題がないこと」(43.7%)、「雇用が安定すること」(39.7%)、「結婚すること」(38.3%)、「地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと」(32.5%) があげられ、第 6 位は「配偶者の家事・育児への協力が得られること」(32.2%) となっている。

男女別にみると、「雇用が安定すること」(男性 50.5%、女性 30.7%) と「結婚すること」(同 43.2%、34.3%) は女性より男性に、「配偶者の家事・育児への協力が得られること」(同 22.0%、40.7%)、「職場に、働きながら子育てができる制度があること」(同 21.7%、33.5%)、「自分または配偶者が高齢でないこと」(同 19.2%、24.6%) などは男性より女性に多くあげられている。

参考 5-4 今後、子どもを持つ条件

		(%)																		
		無 回 答	特 に な い	そ の 他	不妊治療が受けられること	自分の昇進・昇格に差し支えがないこと	出産・育児について相談できる地域の人がいること	配偶者以外の家族が、近居または同居できること	職場の上司や、同僚の理解があること	家がある程度広いこと	自分または配偶者が高齢でないこと	住居にお金がかからないこと	地域の保育サービスが整うこと（保育所や一時預かりなど）	職場に、働きながら子育てができる制度があること	配偶者の家事・育児への協力が得られること	地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと	結婚すること	雇用が安定すること	健康上の問題がないこと	教育にお金がかからないこと
全 体	(n=1,226)	1.9	4.0	2.1	2.8	3.9	6.6	10.1	20.3	21.1	22.1	22.4	26.4	28.1	32.2	32.5	38.3	39.7	43.7	43.8
男 性	(n=558)	2.2	5.2	2.5	1.6	4.3	5.7	8.1	18.1	22.9	19.2	21.3	24.4	21.7	22.0	31.2	43.2	50.5	42.3	41.2
女 性	(n=668)	1.6	3.0	1.8	3.7	3.6	7.3	11.8	22.2	19.6	24.6	23.4	28.1	33.5	40.7	33.7	34.3	30.7	44.9	46.0

性・年代別にみると（図表 5-4-2）、「教育にお金がかからないこと」「健康上の問題がないこと」「自分または配偶者が高齢でないこと」などは、男女とも年代の高い層ほど多くあげられる傾向がある。これに対して、「雇用が安定すること」「結婚すること」「職場に、働きながら子育てができる制度があること」「職場の上司や、同僚の理解があること」などは、男女とも若い年代ほど多くあげられている。特に、「雇用が安定すること」は、男性の 20～24 歳の年代で 6 割を上回って多くなっている。

また、「地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと」は、男女とも 30 歳代で 4 割前後があげている。30～34 歳の年代では、男性では「家がある程度広いこと」（30.1%）が、女性では「地域の保育サービスが整うこと」（43.5%）が、それぞれ多くあげられている。

また、女性の若い世代に、「出産・育児について相談できる地域の人がいること」がやや多くなっている。

図表 5-4-2 今後、子どもを持つ条件（性・年代別）

		(%)																			
		こ 教 育 に お 金 が あ ま り か か ら な い こ と	健 康 上 の 問 題 が な い こ と	雇 用 が 安 定 す る こ と	結 婚 す る こ と	あ ま り お 金 が か か ら な い こ と	地 域 の 保 育 サ ー ビ ス が 整 う こ と （ 保 育 所 や 一 時 預 かり など ）	地 域 の 保 育 サ ー ビ ス が 整 う こ と （ 保 育 所 や 一 時 預 かり など ）	配 偶 者 の 家 事 ・ 育 児 へ の 協 力 が 得 ら れ る こ と	職 場 に 、 働 き な が ら 子 育 て が で き る 制 度 が あ る こ と	職 場 の 上 司 や 、 同 僚 の 理 解 が あ る こ と	家 が あ る 程 度 広 い こ と	住 居 に お 金 が あ ま り か か ら な い こ と	自 分 ま た は 配 偶 者 が 高 齢 で な い こ と	配 偶 者 以 外 の 家 族 が 、 近 居 ま た は 同 居 で き る こ と	出 産 ・ 育 児 に つ い て 相 談 で き る 地 域 の 人 が い る こ と	不 妊 治 療 が 受 け ら れ る こ と	自 分 の 昇 進 ・ 昇 格 に 差 し 支 え が な い こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体 (n=7,593)		43.0	39.0	36.8	36.4	35.4	33.1	30.6	29.7	22.5	21.9	21.6	21.1	7.6	6.9	5.1	4.7	1.9	4.2	2.3	
男 性	20 ～ 24 歳 (n=392)	19.5	37.0	62.1	73.8	17.8	28.7	25.8	28.0	30.9	18.8	15.7	11.3	4.4	7.4	0.9	7.7	0.8	4.4	1.9	
	25 ～ 29 歳 (n=402)	31.3	34.6	48.2	55.4	33.2	32.7	18.4	28.4	20.7	19.7	23.8	17.0	3.8	7.3	0.9	7.7	1.4	6.2	2.6	
	30 ～ 34 歳 (n=583)	48.0	36.6	42.2	34.0	42.3	31.5	18.3	20.7	16.2	30.1	29.6	18.6	5.6	4.9	3.3	7.3	2.0	4.0	1.7	
	35 ～ 39 歳 (n=720)	51.6	36.7	39.2	29.4	38.1	31.3	16.7	22.6	16.7	25.4	27.3	19.3	7.2	4.4	4.5	4.3	1.4	5.0	2.9	
	40 ～ 44 歳 (n=886)	49.4	39.4	43.3	27.6	32.9	25.1	15.2	17.5	16.0	26.6	24.5	24.5	7.7	7.0	3.7	3.5	2.8	6.8	2.6	
女 性	20 ～ 24 歳 (n=505)	23.9	36.7	42.8	74.6	25.4	33.3	43.8	43.6	29.3	11.6	12.3	12.0	5.6	13.7	1.2	7.5	1.0	2.5	0.8	
	25 ～ 29 歳 (n=689)	31.6	37.7	31.3	49.6	41.1	39.1	37.3	40.6	27.2	17.8	19.4	12.8	7.6	10.0	4.2	4.2	1.9	2.4	1.6	
	30 ～ 34 歳 (n=871)	41.6	39.5	31.3	34.6	41.8	43.5	43.3	39.7	27.1	21.3	17.8	16.3	8.5	7.7	6.4	4.6	2.1	1.4	1.0	
	35 ～ 39 歳 (n=1,147)	52.1	41.7	30.2	24.5	40.1	35.6	37.0	33.2	25.0	23.7	24.7	25.3	9.6	5.8	9.1	4.4	2.4	3.0	0.3	
	40 ～ 44 歳 (n=1,292)	50.7	43.5	29.6	20.5	32.2	30.2	36.3	26.0	20.9	21.2	20.1	34.4	9.9	5.1	7.5	2.6	1.4	6.3	1.8	

「地域の保育サービスが整うこと」は、女性の学研都市(41.0%)、乙訓(40.0%)、相楽東部(38.9%)の各地域居住者で4割前後が、「職場に、働きながら子育てができる制度があること」は、女性の丹後(41.8%)、南丹(39.3%)、中丹(37.6%)の各地域居住者で4割近くが、それぞれあげている。

性・共働き状況別にみると（図表 5-4-4）、「教育にお金がかからないこと」は、妻が内職などのその他有職の共働き男性（61.9%）と片働きの男性（60.6%）、自分自身が役員・自営の共働き女性（59.0%）と自身が非正規雇用者の共働き女性（58.9%）で、6割前後である。

自分自身が正規雇用者の共働き女性では、「職場に、働きながら子育てができる制度があること」（49.0%）、「地域の保育サービスが整うこと」（47.6%）、「職場の上司や、同僚の理解があること」（43.4%）などが他の層より多くあげられている。妻が正規雇用者の共働き男性と自身が役員・自営業の共働き女性でも、「地域の保育サービスが整うこと」（妻が正規 44.3%、自身が役員 43.2%）が多くあげられている。

「雇用が安定すること」は、妻が非正規雇用者の共働き男性（45.5%）と妻が内職などその他有職の共働き男性（44.3%）が多い。

図表 5-4-4 今後、子どもを持つ条件（性・共働き状況別）

		(%)																			
		こ 教 育 に お 金 が あ ま り か か ら な い こ と	健 康 上 の 問 題 が な い こ と	雇 用 が 安 定 す る こ と	結 婚 す る こ と	あ ま り お 金 が か か ら な い こ と	地 域 の 保 育 サ ー ビ ス が 整 う こ と （ 保 育 所 や 一 時 預 かり など ）	配 偶 者 の 家 事 ・ 育 児 へ の 協 力 が 得 ら れ る こ と	職 場 に 、 働 き な が ら 子 育 て が で き る 制 度 が あ る こ と	職 場 の 上 司 や 、 同 僚 の 理 解 が あ る こ と	家 が あ る 程 度 広 い こ と	住 居 に お 金 が あ ま り か か ら な い こ と	自 分 ま た は 配 偶 者 が 高 齢 で な い こ と	配 偶 者 以 外 の 家 族 が 、 近 居 ま た は 同 居 で き る こ と	地 域 の 人 が い る こ と	出 産 ・ 育 児 に つ い て 相 談 で き る こ と	不 妊 治 療 が 受 け ら れ る こ と	自 分 の 昇 進 ・ 昇 格 に 差 し 支 え が な い こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体 (n=7,593)		43.0	39.0	36.8	36.4	35.4	33.1	30.6	29.7	22.5	21.9	21.6	21.1	7.6	6.9	5.1	4.7	1.9	4.2	2.3	
男 性	共 働 き（計） (n=1,039)	53.0	40.1	39.0	12.7	41.4	32.9	15.9	23.2	19.1	29.4	28.8	24.6	7.4	4.5	5.2	6.4	2.3	5.0	1.8	
	妻 正 規 (n=382)	47.0	39.2	31.5	14.6	42.1	44.3	16.1	31.7	26.5	24.4	21.4	25.9	9.5	6.9	4.2	8.2	1.8	2.2	3.1	
	妻 非 正 規 (n=503)	56.0	40.2	45.5	11.2	42.6	28.0	14.9	19.7	16.8	32.0	33.4	22.8	5.5	2.9	5.3	5.9	2.6	6.2	0.6	
	妻 役 員・自 営 (n=41)	50.1	30.0	15.5	11.0	43.5	21.4	19.7	11.4	5.7	18.8	34.9	33.5	4.4	0.5	22.4	8.5	4.2	13.8	4.4	
	妻 そ の 他 (n=113)	61.9	47.4	44.3	14.0	31.1	18.8	18.8	13.9	8.0	39.7	30.6	25.4	11.3	5.4	0.9	1.0	2.2	6.0	2.2	
	片 働 き (n=509)	60.6	38.3	36.8	13.4	40.9	27.4	17.5	18.1	15.0	33.1	31.6	24.4	7.2	6.2	3.7	5.8	2.1	5.4	0.9	
女 性	共 働 き（計） (n=1,860)	54.0	36.3	29.9	10.5	43.5	39.0	38.6	37.5	29.8	23.3	23.9	24.3	10.0	4.6	7.8	5.3	2.3	3.2	1.3	
	妻 正 規 (n=644)	45.7	32.2	25.6	11.2	45.3	47.6	41.0	49.0	43.4	21.7	20.7	20.8	13.4	1.7	7.0	9.0	1.9	2.4	1.6	
	妻 非 正 規 (n=985)	58.9	36.9	33.3	10.1	41.8	34.7	35.7	34.0	25.7	22.4	25.7	24.7	7.6	6.1	7.7	3.9	2.4	3.9	1.4	
	妻 役 員・自 営 (n=81)	59.0	47.8	29.1	16.3	42.4	43.2	45.2	24.3	8.3	32.6	21.0	30.2	10.1	7.9	9.5	-	0.0	-	-	
	妻 そ の 他 (n=150)	53.3	43.5	25.1	7.3	47.9	29.7	44.7	19.6	12.1	30.8	27.4	33.2	11.5	5.1	10.5	2.4	3.9	3.3	-	
	片 働 き (n=781)	57.3	45.8	23.9	9.3	42.0	35.2	43.9	28.2	18.5	33.0	25.5	29.3	11.2	7.9	8.3	2.2	2.2	3.3	0.4	

性・子どもの人数別にみると（図表 5-4-5）、「教育にお金がかからないこと」「地域の保育サービスの利用に、あまりお金がかからないこと」「家がある程度広いこと」「住居にお金がかからないこと」「自分または配偶者が高齢でないこと」は、子どもの人数が多い層ほど多くあげている。これに対して、「職場に、働きながら子育てができる制度があること」と「地域の保育サービスが整うこと」は、子どものいない既婚者を含め、子どもの人数が少ない層に多くあげられている。「職場の上司や、同僚の理解があること」は、子どものいる層での人数の少ない層に多い。

一方、男女とも未婚者では「結婚すること」（男性 73.3%、女性 76.5%）は 7 割以上である。また、「雇用が安定すること」（同 54.8%、36.7%）も、他の層より多くなっている。

図表 5-4-5 今後、子どもを持つ条件（性・子どもの人数別）

			こ と	健 康 上 の 問 題 が な い こ と	雇 用 が 安 定 す る こ と	結 婚 す る こ と	あ ま り お 金 が か か ら な い こ と	地 域 の 保 育 サ ー ビ ス が 整 う こ と （ 保 育 所 や 一 時 預 かり な ど ）	配 偶 者 の 家 事 ・ 育 児 へ の 協 力 が 得 ら れ る こ と	職 場 に 、 働 き な が ら 子 育 て が で き る 制 度 が あ る こ と	職 場 の 上 司 や 、 同 僚 の 理 解 が あ る こ と	家 が あ る 程 度 広 い こ と	住 居 に お 金 が あ ま り か か ら な い こ と	自 分 ま た は 配 偶 者 が 高 齢 で な い こ と	配 偶 者 以 外 の 家 族 が 、 近 居 ま た は 同 居 で き る こ と	出 産 ・ 育 児 に つ い て 相 談 で き る こ と	不 妊 治 療 が 受 け ら れ る こ と	自 分 の 昇 進 ・ 昇 格 に 差 し 支 え が な い こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答	(%)
全 体 (n=7,593)			43.0	39.0	36.8	36.4	35.4	33.1	30.6	29.7	22.5	21.9	21.6	21.1	7.6	6.9	5.1	4.7	1.9	4.2	2.3	
男 性	子 ど も い な い	未 婚 (n=1,200)	27.1	36.0	54.8	73.3	25.4	28.2	20.8	23.3	20.1	17.5	18.0	14.4	4.6	7.2	0.9	5.4	1.5	6.3	1.4	
		既 婚 (n=299)	43.3	36.6	39.4	20.2	43.8	37.8	14.6	27.3	19.9	23.9	26.5	20.8	5.0	7.4	10.0	4.7	2.7	4.1	1.7	
	子 ども 1 人 (n=440)		51.4	44.5	42.2	14.6	40.1	37.3	15.4	21.8	18.7	24.4	28.4	26.9	8.2	6.9	4.4	6.5	0.8	5.1	0.6	
	2 人 (n=660)		60.5	37.1	38.9	14.1	39.9	24.7	17.4	20.5	16.7	33.6	30.4	25.6	9.2	3.6	2.8	6.2	2.6	5.2	1.6	
3 人 以上 (n=270)		65.3	36.2	32.4	15.7	42.1	22.4	19.0	14.3	15.7	46.4	38.6	14.6	4.6	3.1	1.7	5.4	3.5	6.4	2.6		
女 性	子 ど も い な い	未 婚 (n=1,391)	22.7	43.0	36.7	76.5	25.9	35.0	38.3	35.0	24.6	9.8	10.3	17.8	6.1	11.0	4.2	4.8	1.2	3.8	0.6	
		既 婚 (n=479)	31.2	43.1	29.1	23.3	39.2	45.6	33.7	38.2	23.0	14.2	19.6	19.8	8.8	8.6	17.7	3.5	1.1	6.2	1.5	
	子 ども 1 人 (n=783)		50.2	36.9	26.7	13.6	42.6	38.1	41.9	36.8	29.3	24.1	23.3	24.2	10.2	7.1	9.9	5.2	3.0	2.8	1.5	
	2 人 (n=1,180)		61.5	39.6	30.7	11.3	40.6	33.7	39.6	33.7	25.7	29.5	26.2	26.6	10.6	4.3	4.3	3.7	2.5	3.0	0.6	
3 人 以上 (n=536)		66.8	41.0	28.8	10.6	45.7	30.1	42.4	28.7	20.3	32.3	28.3	30.6	9.5	3.4	1.0	3.0	1.8	2.4	0.7		